

事業所名

きつずサポートげんきの森

支援プログラム

作成日

2025 年

1 月

6 日

法人（事業所）理念		いきいきと自分に自信を持って生きがいのある生活を送れる人になるために必要な諸能力を伸ばしていく。									
支援方針		・ビジョントレーニング、機能訓練によって発達の基礎となる土台の力を伸ばす。 ・曜日により違う設定療育によって、それぞれの得意をみつける。また、5領域の均整の取れた成長を促す。集団療育によりコミュニケーション能力を伸ばす。 ・個々の特性にあった将来の進路を描けるように支援していく。									
営業時間		平日 学校休日	11 8	時 30	分から	18 17	時 30	分まで	送迎実施の有無	ありなし	
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	・来所時の手洗い、学習準備、退所時の身支度を1人で行えるようにする。（絵や文字でのスケジュール、声掛けにて） ・昼食、おやつ時好き嫌いなくバランス良く、残さず食べるよう指導する。 ・トイレの正しい使い方を絵カードや声掛け、スケジュールを利用して指導する。トイレトペーパーの使い方を必要であれば個別にて指導する。 ・季節や気候にあった着衣を指導する。									
	運動・感覚	・毎週木曜日に運動療育を行い、手足の協調運動、俊敏さなどを養う。 ・内容としては、公園での、鬼ごっこ、サッカー、ゲーム、遊具を使つての遊び、縄跳びを行う。 ・室内では、バランスボールやトランポリンを使った体幹強化プログラム、風船バレー、卓球、ダンス、踏み台昇降ダンスなどを行う。 ・個々の発達課題を分析しワークシステムにてそれぞれの課題学習があり15～60分の微細運動などのトレーニングを行う。									
	認知・行動	・ビジョントレーニングにより認知力の向上を目指す。（2～6回/月） ・スケジュールを見て1人で行動できるように絵や文字を使った物を準備し支援する。 ・学習活動に関して分からない点を自分から療育者に質問できるような自主性を応用行動の手法を使った支援で育む。									
	言語 コミュニケーション	・語彙力を個別の訓練により増やす。（バランサーキッズを使用） ・課題学習の中で物の名前や気持ちなどを表現する言葉の数を増やしていく。 ・ソーシャルスキルトレーニングを課題学習の中で、又は対面学習にて行う。 ・自分の意思を伝える場面を設定し、自己選択して意思や希望を伝えられるように支援する。									
	人間関係 社会性	・ソーシャルスキルトレーニングを課題学習の中で、又は対面学習にて行う。 ・自分の意思を伝える場面を設定し、自己選択して意思や希望を伝えられるように支援する。 ・設定療育後の自由遊びの中で遊具の貸し借りや、カードゲーム、ボードゲームを行い、勝ち負けを受け入れる心のゆとりを育てていく。 ・問題行動が発生した場合に個別のソーシャルストーリーを活用した対面指導を行い、適切な行動を体得出来るようにしていく。									
家族支援		・発達課題の克服のためにご家庭で出来る事を提案し、家庭でも実行してもらう。 ・保護者の悩み事などに、送迎時や懇談、LINE、電話で対応し問題解決と一緒に考える。					移行支援		・進学などにより保護者の要望があれば必要な書類を作成し、次の移行先に提出できるようにする。 ・就労などにスムーズに移行できるよう必要な作業能力を時間をかけ育てる。		
地域支援・地域連携		・地域のお子さんとの交流をクリスマス会に招待するなど定期的にはかる。 ・公園で地域のお子さんと鬼ごっこやサッカーなどを楽しむことで地域との連携を図る。					職員の質の向上		・強度行動障害支援者養成研修に希望者全員受講し、知識や療育の手法を学ぶ。児童発達支援管理責任者研修を受講可能になれば受講している。 ・1回/月以上に専門性の向上のための研修を行う。1回/年以上施設訪問研修を行う。		
主な行事等		・春、れんげ摘み体験、桜のお花見、 ・秋、運動会、山歩き ・夏、プール学習、工場見学、職場見学、すいか割大会、お年寄りの施設訪問(交流会)、遠足 ・冬、クリスマス会、書き初め大会									